

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第166期（決算日：2020年8月24日）
 第167期（決算日：2020年9月24日）
 第168期（決算日：2020年10月26日）
 第169期（決算日：2020年11月24日）
 第170期（決算日：2020年12月24日）
 第171期（決算日：2021年1月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月25日に第171期の決算を行いましたので、法令に基づいて第166期～第171期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円	円	円	%	%	%	百万円
142期(2018年8月24日)	4,242	20		△ 1.8	95.0	—	5,960
143期(2018年9月25日)	4,256	20		0.8	95.0	—	5,931
144期(2018年10月24日)	4,183	20		△ 1.2	92.6	—	5,776
145期(2018年11月26日)	4,138	20		△ 0.6	94.8	—	5,643
146期(2018年12月25日)	4,021	20		△ 2.3	95.1	—	5,427
147期(2019年1月24日)	4,155	20		3.8	95.3	—	5,582
148期(2019年2月25日)	4,232	20		2.3	95.3	—	5,637
149期(2019年3月25日)	4,174	20		△ 0.9	95.9	—	5,509
150期(2019年4月24日)	4,268	20		2.7	95.6	—	5,572
151期(2019年5月24日)	4,157	20		△ 2.1	94.1	—	5,396
152期(2019年6月24日)	4,136	20		△ 0.0	93.1	—	5,338
153期(2019年7月24日)	4,222	20		2.6	94.5	—	5,432
154期(2019年8月26日)	3,944	20		△ 6.1	93.5	—	5,039
155期(2019年9月24日)	4,115	20		4.8	93.4	—	5,233
156期(2019年10月24日)	4,200	20		2.6	94.3	—	5,290
157期(2019年11月25日)	4,150	20		△ 0.7	92.6	—	5,199
158期(2019年12月24日)	4,254	20		3.0	93.6	—	5,280
159期(2020年1月24日)	4,322	10		1.8	92.6	—	5,333
160期(2020年2月25日)	4,306	10		△ 0.1	93.6	—	5,254
161期(2020年3月24日)	3,392	10		△21.0	95.1	—	4,115
162期(2020年4月24日)	3,519	10		4.0	95.7	—	4,241
163期(2020年5月25日)	3,716	10		5.9	90.9	—	4,471
164期(2020年6月24日)	3,738	10		0.9	97.4	—	4,477
165期(2020年7月27日)	3,733	10		0.1	97.9	—	4,453
166期(2020年8月24日)	3,761	10		1.0	96.8	—	4,459
167期(2020年9月24日)	3,715	10		△ 1.0	97.8	—	4,360
168期(2020年10月26日)	3,756	10		1.4	97.4	—	4,346
169期(2020年11月24日)	3,859	10		3.0	96.8	—	4,378
170期(2020年12月24日)	3,879	10		0.8	97.7	—	4,315
171期(2021年1月25日)	3,883	10		0.4	97.8	—	4,276

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第166期	(期 首) 2020年7月27日	円 3,733	% —	% —	% 97.9	% —
	7月末	3,728	△0.1	—	97.9	—
	(期 末) 2020年8月24日	3,771	1.0	—	96.8	—
第167期	(期 首) 2020年8月24日	3,761	—	—	96.8	—
	8月末	3,758	△0.1	—	96.8	—
	(期 末) 2020年9月24日	3,725	△1.0	—	97.8	—
第168期	(期 首) 2020年9月24日	3,715	—	—	97.8	—
	9月末	3,719	0.1	—	97.9	—
	(期 末) 2020年10月26日	3,766	1.4	—	97.4	—
第169期	(期 首) 2020年10月26日	3,756	—	—	97.4	—
	10月末	3,730	△0.7	—	97.5	—
	(期 末) 2020年11月24日	3,869	3.0	—	96.8	—
第170期	(期 首) 2020年11月24日	3,859	—	—	96.8	—
	11月末	3,848	△0.3	—	97.1	—
	(期 末) 2020年12月24日	3,889	0.8	—	97.7	—
第171期	(期 首) 2020年12月24日	3,879	—	—	97.7	—
	12月末	3,895	0.4	—	97.7	—
	(期 末) 2021年1月25日	3,893	0.4	—	97.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第166期～第171期：2020年7月28日～2021年1月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第166期首	3,733円
第171期末	3,883円
既払分配金	60円
騰落率	5.7%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、アッパーミドル諸国の通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

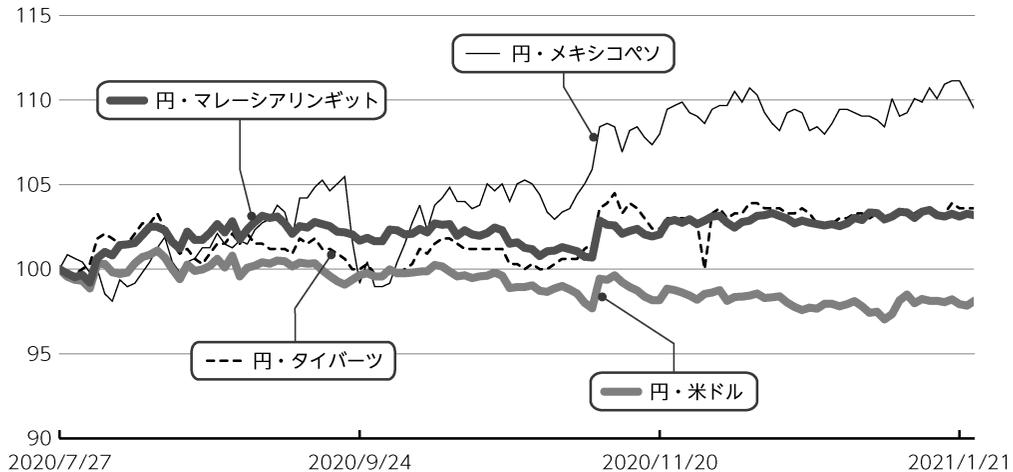
下落要因

米国やマレーシアの長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第166期～第171期：2020年7月28日～2021年1月25日

▶ 投資環境について

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 債券市況

長期金利は米国やマレーシアで上昇した一方、タイとメキシコで低下しました。

世界各国の積極的な財政政策やそれに伴う国債増発懸念などが長期金利の上昇要因となった一方、緩和的な金融政策が長期金利の低下要因となりました。結果、長期金利は米国やマレーシアで上昇した一方、タイとメキシコで低下しました。

▶ 為替市況

投資国通貨は、アッパーミドル諸国の通貨が対円で上昇した一方、米ドルは対円で下落しました。

投資国通貨は、世界各国の積極的な財政政策による投資家のリスクセンチメント改善を背景に、アッパーミドル諸国の通貨が対円で上昇した一方、米ドルは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、当作成期を通じて、米国・メキシコ・マレーシア・タイの4カ国で運用しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第166期 2020年7月28日～ 2020年8月24日	第167期 2020年8月25日～ 2020年9月24日	第168期 2020年9月25日～ 2020年10月26日	第169期 2020年10月27日～ 2020年11月24日	第170期 2020年11月25日～ 2020年12月24日	第171期 2020年12月25日～ 2021年1月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.265%)	10 (0.268%)	10 (0.266%)	10 (0.258%)	10 (0.257%)	10 (0.257%)
当期の収益	10	8	10	10	10	10
当期の収益以外	—	1	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	162	160	162	164	165	165

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得

をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

2020年7月28日～2021年1月25日

1万口当たりの費用明細

項目	第166期～第171期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	23	0.603	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(12)	(0.302)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.024	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.021)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	24	0.627	

作成期中の平均基準価額は、3,813円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

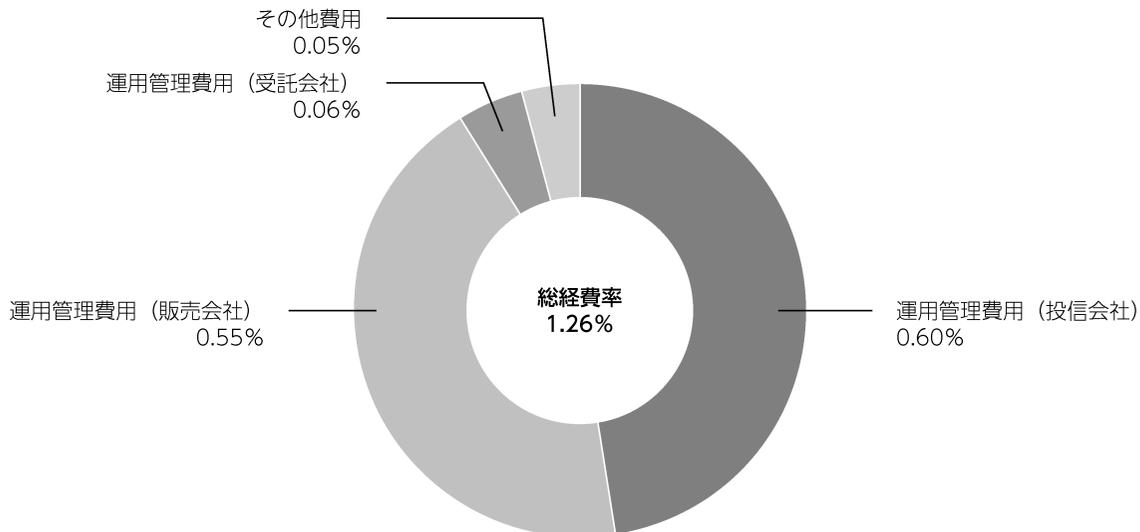
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.26%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年7月28日～2021年1月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第166期～第171期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 6,349	千円 7,782	千口 367,551	千円 453,779

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月28日～2021年1月25日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第166期～第171期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 152	百万円 36	% 23.7	百万円 609	百万円 148	% 24.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年1月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第165期末	第171期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 3,724,636	千口 3,363,434	千円 4,265,844

○投資信託財産の構成

（2021年1月25日現在）

項 目	第171期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	4,265,844	99.3
コール・ローン等、その他	31,479	0.7
投資信託財産総額	4,297,323	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（4,261,188千円）の投資信託財産総額（4,283,002千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=103.84円	1 メキシコペソ=5.21円	1 マレーシアリングgit=25.66円	1 タイバーツ=3.46円
------------------	----------------	----------------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末
	2020年8月24日現在	2020年9月24日現在	2020年10月26日現在	2020年11月24日現在	2020年12月24日現在	2021年1月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,483,256,160	4,380,930,775	4,373,718,508	4,396,230,416	4,335,294,433	4,297,323,796
コール・ローン等	14,514,314	14,636,396	14,785,983	14,119,116	14,325,013	14,447,852
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	4,449,311,726	4,350,374,384	4,336,681,517	4,368,709,797	4,304,730,036	4,265,844,249
未収入金	19,430,120	15,919,995	22,251,008	13,401,503	16,239,384	17,031,695
(B) 負債	23,354,824	20,270,836	26,759,795	17,440,860	20,082,190	21,299,736
未払収益分配金	11,857,751	11,739,362	11,573,388	11,348,337	11,125,253	11,012,082
未払解約金	7,321,727	3,908,901	10,511,443	1,888,506	4,613,686	5,691,806
未払信託報酬	4,159,457	4,604,989	4,657,190	4,188,028	4,326,736	4,578,373
未払利息	18	12	5	9	7	3
その他未払費用	15,871	17,572	17,769	15,980	16,508	17,472
(C) 純資産総額(A-B)	4,459,901,336	4,360,659,939	4,346,958,713	4,378,789,556	4,315,212,243	4,276,024,060
元本	11,857,751,487	11,739,362,777	11,573,388,590	11,348,337,849	11,125,253,676	11,012,082,173
次期繰越損益金	△ 7,397,850,151	△ 7,378,702,838	△ 7,226,429,877	△ 6,969,548,293	△ 6,810,041,433	△ 6,736,058,113
(D) 受益権総口数	11,857,751,487口	11,739,362,777口	11,573,388,590口	11,348,337,849口	11,125,253,676口	11,012,082,173口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,761円	3,715円	3,756円	3,859円	3,879円	3,883円

○損益の状況

項 目	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2020年7月28日～ 2020年8月24日	2020年8月25日～ 2020年9月24日	2020年9月25日～ 2020年10月26日	2020年10月27日～ 2020年11月24日	2020年11月25日～ 2020年12月24日	2020年12月25日～ 2021年1月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 300	△ 503	△ 173	△ 231	△ 211	△ 122
受取利息	5	1	—	—	4	4
支払利息	△ 305	△ 504	△ 173	△ 231	△ 215	△ 126
(B) 有価証券売買損益	48,881,543	△ 38,349,529	64,192,402	131,904,324	37,962,180	20,314,948
売買益	49,499,805	655,970	65,084,493	133,342,999	38,345,924	20,567,468
売買損	△ 618,262	△ 39,005,499	△ 892,091	△ 1,438,675	△ 383,744	△ 252,520
(C) 信託報酬等	△ 4,175,328	△ 4,622,561	△ 4,674,959	△ 4,204,008	△ 4,343,244	△ 4,595,845
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	44,705,915	△ 42,972,593	59,517,270	127,700,085	33,618,725	15,718,981
(E) 前期繰越損益金	△5,460,197,334	△5,370,213,195	△5,345,078,859	△5,191,206,592	△4,972,324,478	△4,896,631,175
(F) 追加信託差損益金	△1,970,500,981	△1,953,777,688	△1,929,294,900	△1,894,693,449	△1,860,210,427	△1,844,133,837
(配当等相当額)	(143,309,504)	(141,907,651)	(139,930,033)	(137,237,296)	(134,567,151)	(133,228,295)
(売買損益相当額)	(△2,113,810,485)	(△2,095,685,339)	(△2,069,224,933)	(△2,031,930,745)	(△1,994,777,578)	(△1,977,362,132)
(G) 計(D+E+F)	△7,385,992,400	△7,366,963,476	△7,214,856,489	△6,958,199,956	△6,798,916,180	△6,725,046,031
(H) 収益分配金	△ 11,857,751	△ 11,739,362	△ 11,573,388	△ 11,348,337	△ 11,125,253	△ 11,012,082
次期繰越損益金(G+H)	△7,397,850,151	△7,378,702,838	△7,226,429,877	△6,969,548,293	△6,810,041,433	△6,736,058,113
追加信託差損益金	△1,970,500,981	△1,953,777,688	△1,929,294,900	△1,894,693,449	△1,860,210,427	△1,844,133,837
(配当等相当額)	(143,311,894)	(141,909,492)	(139,931,955)	(137,238,360)	(134,568,721)	(133,230,125)
(売買損益相当額)	(△2,113,812,875)	(△2,095,687,180)	(△2,069,226,855)	(△2,031,931,809)	(△1,994,779,148)	(△1,977,363,962)
分配準備積立金	48,903,563	46,533,972	48,211,038	49,053,760	49,514,416	49,294,236
繰越損益金	△5,476,252,733	△5,471,459,122	△5,345,346,015	△5,123,908,604	△4,999,345,422	△4,941,218,512

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 11,929,348,739円
 作成期中追加設定元本額 40,556,689円
 作成期中一部解約元本額 957,823,255円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3883円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,736,058,113円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2020年7月28日～ 2020年8月24日	2020年8月25日～ 2020年9月24日	2020年9月25日～ 2020年10月26日	2020年10月27日～ 2020年11月24日	2020年11月25日～ 2020年12月24日	2020年12月25日～ 2021年1月25日
費用控除後の配当等収益額	12,171,989円	9,884,599円	13,935,358円	13,155,150円	12,576,973円	11,324,073円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	143,311,894円	141,909,492円	139,931,955円	137,238,360円	134,568,721円	133,230,125円
分配準備積立金額	48,589,325円	48,388,735円	45,849,068円	47,246,947円	48,062,696円	48,982,245円
当ファンドの分配対象収益額	204,073,208円	200,182,826円	199,716,381円	197,640,457円	195,208,390円	193,536,443円
1万口当たり収益分配対象額	172円	170円	172円	174円	175円	175円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	11,857,751円	11,739,362円	11,573,388円	11,348,337円	11,125,253円	11,012,082円

○分配金のお知らせ

	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第14期》決算日2020年7月27日

[計算期間：2019年7月25日～2020年7月27日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月27日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2016年7月25日)	10,612	△19.7		97.5	—	8,680
11期(2017年7月24日)	11,878	11.9		96.1	—	7,365
12期(2018年7月24日)	12,251	3.1		95.8	—	6,171
13期(2019年7月24日)	12,775	4.3		94.8	—	5,419
14期(2020年7月27日)	11,930	△6.6		98.1	—	4,443

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2019年7月24日	円 12,775	% —	% 94.8	% —	% —
7月末	12,702	△ 0.6	94.7	—	—
8月末	12,159	△ 4.8	93.7	—	—
9月末	12,534	△ 1.9	93.6	—	—
10月末	12,835	0.5	94.4	—	—
11月末	12,889	0.9	93.0	—	—
12月末	13,442	5.2	93.8	—	—
2020年1月末	13,402	4.9	92.8	—	—
2月末	13,149	2.9	93.9	—	—
3月末	11,084	△13.2	95.0	—	—
4月末	11,259	△11.9	95.8	—	—
5月末	11,829	△ 7.4	95.0	—	—
6月末	11,938	△ 6.6	97.7	—	—
(期 末) 2020年7月27日	11,930	△ 6.6	98.1	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

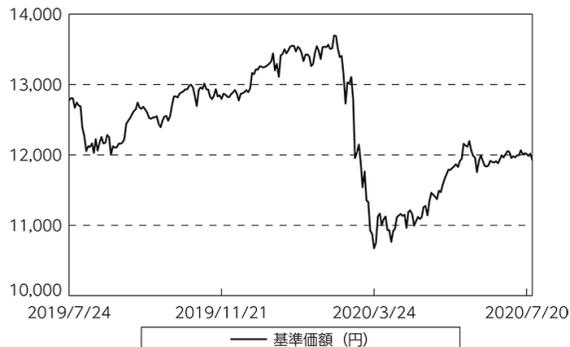
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価格は期首に比べ6.6%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、メキシコやマレーシアの金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

投資国通貨が概ね対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・投資国の長期金利は、概ね低下しました。
 - ・米国の長期金利は、新型コロナウイルスの拡散により世界経済の減速懸念が高まり、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、低下しました。
- アッパーミドル諸国の長期金利は、米中通商問

題が進展するとの期待が高まったことや英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感が一部解消されたことなどを背景に、2020年2月下旬にかけて低下したものの、リスクセンチメント悪化を背景に、3月中旬から下旬にかけて上昇しました。その後、各国の中央銀行が緩和的な金融政策を進めたことなどから、期末にかけて低下しました。結果、期を通じてみると、アッパーミドル諸国の長期金利は、概ね低下して終わりました。

◎為替市況

・投資国通貨は、リスクセンチメント悪化を背景に、対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

・投資国に関しては、期首は米国・南アフリカ・メキシコ・マレーシアの4カ国で運用を行っていましたが、投資国の格下げに伴い、期中に臨時で2回の投資国見直しを実施しました。

①南アフリカ除外、ロシア採用

②ロシア除外、タイ採用

結果、期末の投資国は、米国・メキシコ・マレーシア・タイの4カ国となりました。

○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2019年7月25日～2020年7月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.024)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	3	0.024	
期中の平均基準価額は、12,382円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月25日～2020年7月27日)

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 1,237	千アメリカドル 2,050
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 49,419	千メキシコペソ 32,877 (37,500)
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 802,998	千ロシアルーブル 846,957
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 2,600	千マレーシアリングgit 10,641
	タイ	国債証券	千タイバーツ 378,899	千タイバーツ -
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 26,779	千南アフリカランド 182,492 (10,600)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月25日～2020年7月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	2,687	26	1.0	3,273	331	10.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年7月27日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 3,150	千アメリカドル 3,815	千円 403,740	% 9.1	% —	% 5.4	% 1.8	% 2.0
メキシコ	千メキシコペソ 256,500	千メキシコペソ 282,599	1,345,171	30.3	—	19.0	5.2	6.1
マレーシア	千マレーシアリンギット 49,800	千マレーシアリンギット 54,456	1,354,331	30.5	—	20.0	5.5	5.0
タイ	千タイバーツ 350,000	千タイバーツ 375,684	1,254,787	28.2	—	28.2	—	—
合 計	—	—	4,358,031	98.1	—	72.6	12.5	13.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄		当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1.75	800	823	87,113	2022/5/15
		1.75 T-NOTE 240731	1.75	700	742	78,611	2024/7/31
		2.25 T-NOTE 270815	2.25	600	675	71,463	2027/8/15
		3 T-BOND 420515	3.0	300	411	43,506	2042/5/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	750	1,162	123,046	2036/2/15
小		計				403,740	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	23,000	23,631	112,484	2026/3/5
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	55,000	56,890	270,797	2022/6/9
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	40,500	45,209	215,198	2027/6/3
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	25,000	28,529	135,798	2031/5/29
		7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	36,000	40,093	190,843	2042/11/13
		8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	44,000	48,501	230,865	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	33,000	39,744	189,184	2038/11/18
小		計				1,345,171	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.48 MALAYSIAGOV 230315	3.48	1,400	1,453	36,147	2023/3/15
		3.757 MALAYSIAGOV 230420	3.757	8,000	8,373	208,250	2023/4/20
		3.899 MALAYSIAGOV 271116	3.899	11,000	12,152	302,229	2027/11/16
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	3.955	10,000	10,895	270,980	2025/9/15
		4.048 MALAYSIA 210930	4.048	8,700	8,928	222,058	2021/9/30
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	5,000	5,777	143,685	2030/4/15
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	4.893	5,700	6,874	170,978	2038/6/8
小		計				1,354,331	
タイ				千タイバーツ	千タイバーツ		
	国債証券	1.6 THAILAND 291217	1.6	150,000	155,042	517,842	2029/12/17
		2.125 THAILAND 261217	2.125	100,000	107,255	358,234	2026/12/17
		2.875 THAILAND 281217	2.875	100,000	113,386	378,710	2028/12/17
小		計				1,254,787	
合		計				4,358,031	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年7月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,358,031	% 97.8
コール・ローン等、その他	99,717	2.2
投資信託財産総額	4,457,748	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(4,433,828千円)の投資信託財産総額(4,457,748千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.82円	1 メキシコペソ=4.76円	1 マレーシアリングギット=24.87円	1 タイバーツ=3.34円
------------------	----------------	----------------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,457,748,437 円
コール・ローン等	67,189,354
公社債(評価額)	4,358,031,012
未収利息	32,089,484
前払費用	438,587
(B) 負債	14,338,826
未払解約金	14,338,805
未払利息	21
(C) 純資産総額(A-B)	4,443,409,611
元本	3,724,636,059
次期繰越損益金	718,773,552
(D) 受益権総口数	3,724,636,059口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,930円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,242,252,305円
 期中追加設定元本額 25,148,987円
 期中一部解約元本額 542,765,233円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1930円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 3,724,636,059円

○損益の状況 (2019年7月25日~2020年7月27日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	248,922,404 円
受取利息	248,934,203
その他収益金	10,773
支払利息	△ 22,572
(B) 有価証券売買損益	△ 575,521,978
売買益	342,328,256
売買損	△ 917,850,234
(C) 保管費用等	△ 1,184,078
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 327,783,652
(E) 前期繰越損益金	1,177,267,426
(F) 追加信託差損益金	5,896,702
(G) 解約差損益金	△ 136,606,924
(H) 計(D+E+F+G)	718,773,552
次期繰越損益金(H)	718,773,552

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。